



まるぐち



ニュース



丸 第17号
平成24年2月1日

クレーンニュース

チェーンブロックの日常点検ポイント

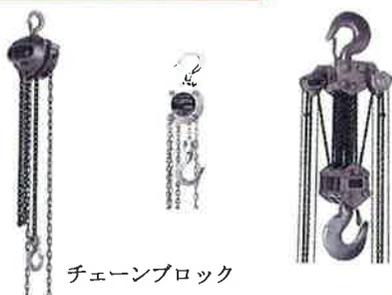
チェーンブロックを正しく使用し、日常点検、定期的なメンテナンスを実施することが、使用者が長く安全にチェーンブロックを使用できることにつながります。以下に代表的な日常点検ポイントを記しますので、参考にして下さい。

- ①外観上、本体やロードチェーンに傷や破損、ねじれはないか。
- ②定格表示がはっきり読めるか。
- ③フック及び外れ止めに变形や傷がないか。フックは軽く回転するか。
- ④巻き上げの時、カチカチと音が出るか（メカニカルブレーキが機能しているか）。
- ⑤操作を止めた時、フックのすべり落ちはないか。

また、日頃の管理も重要です。以下に管理のポイントを書きます。

- ①管理責任者を決める。
- ②職場に適した作業基準や点検基準を決める。
- ③教育による作業基準の徹底を図る。

担当 中島



チェーンブロック

建機ニュース

センタージョイント



作動油タンクへ（ドレンポート）

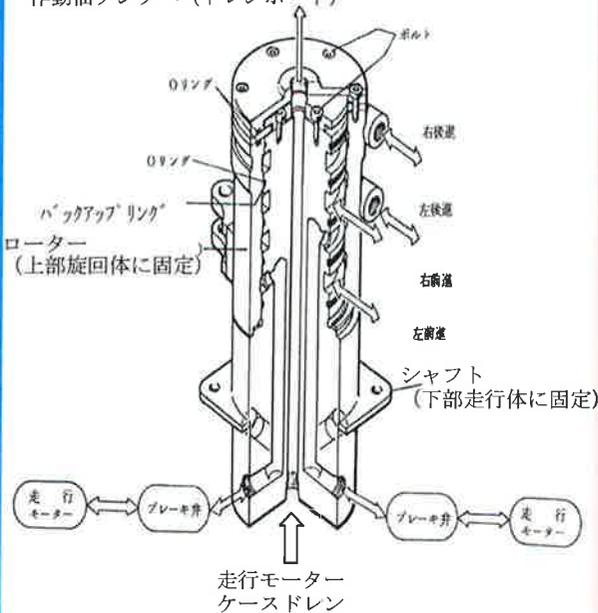


図1 センタージョイントの一例

担当 若林

“バックホーは上部が回転しても、どうして下部走行モーターへ作動油が供給できるの？”普通に考えてホースが繋がっていたら、ホースが切れますよね？

センタージョイントは上部旋回体に設けられたポンプから下部走行体の走行モーター等へ圧油を送るための継手であり、上部旋回体が回転しても下部走行体との接続を可能とするため、旋回中心に設けられ下部走行体に圧油を供給しています。

図1に示すように、主として上部旋回体に固定されたローター、下部走行体に固定されたシャフトから構成され、ローターの4個のポートは左右走行用の制御バルブのポートと接続されています。

シャフトにはローターのそれぞれのポートに対応するリング状溝が設けられており、上部旋回体の旋回に伴ってローターが旋回しても常にシャフトの溝と接続され、下部走行体へ油を送り込む働きをします。

車検ニュース

アクスルの仕組み

（リジッドアクスル）

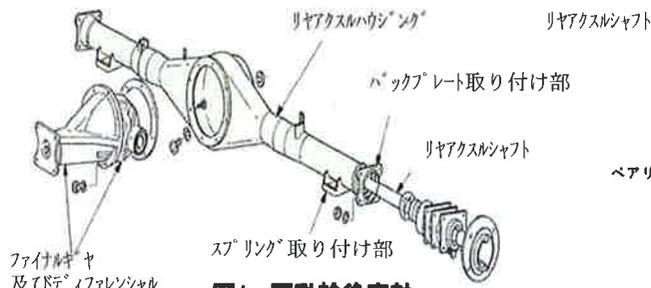


図1 駆動軸後軸輪

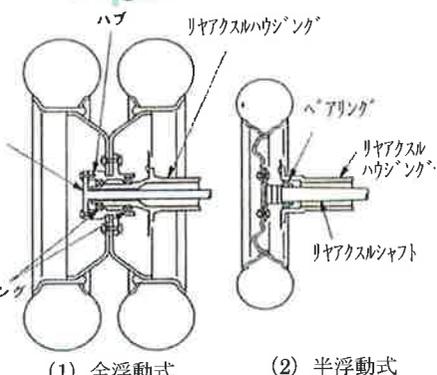


図2 アクスルシャフトの支持方式

図1のタイプは形状からバンジョー型などと呼ばれますが、量産向きであることと、ファイナルギヤおよびデフイフレンシャルの整備が容易であることから広く用いられています。かつては乗用車にも多く使われていたが、現在は主としてトラック、バス用です。

荷重の支え方によって、全浮動式と半浮動式に分けられます（図2参照）。荷重がアクスルシャフトに作用せず、大きな荷重を支えることができるのが全浮動式で、トラックやバスなどに用いられます。アクスルシャフトが荷重を受けるのが半浮動式で、構造が簡単で軽量なため、乗用車や小型トラックに用いられています。

担当 藤森

編集後記

今年の寒さは堪えますが、春はもうそこまで来ています！！
休日は気分転換に出かけてみませんか・・・？



“備中国分寺の五重塔”ライトアップ・・・！！
期間：3月31日（土）まで
時間：午後6時～午後10時
“きびじつるの里”に美しいダンショウ・・・！！
開園時間：午前8時30分～午後5時
入園料：無料
場所：国民宿舎サンロード吉備路に併設
※ 国民宿舎サンロード吉備路
ランチバイキング（¥1,300）11時～14時まで
日帰り温泉（¥600）11時～21時まで
総社で一日楽しめますよ・・・！！ 担当 八木



後楽園では「蠟梅」（ロウバイ）が見ごろです。（本当にロウで作った様な花です）
「蠟梅」の由来は、蠟細工のような光沢と透明感のある花の姿が梅の花に似ていることや、花弁の色が蜜蝋に似た花が咲くことなどからと言われています。
あっ！そうそう！後楽園にも“鶴”がいますよね！！

